

5 - 2 東海地方の微小地震の分布 (1988年11月1日～1989年4月30日)

**Distribution of Microearthquakes in Tokai District
(November 1, 1988 - April 30, 1989)**

名古屋大学 理学部
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1988年11月1日より1989年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

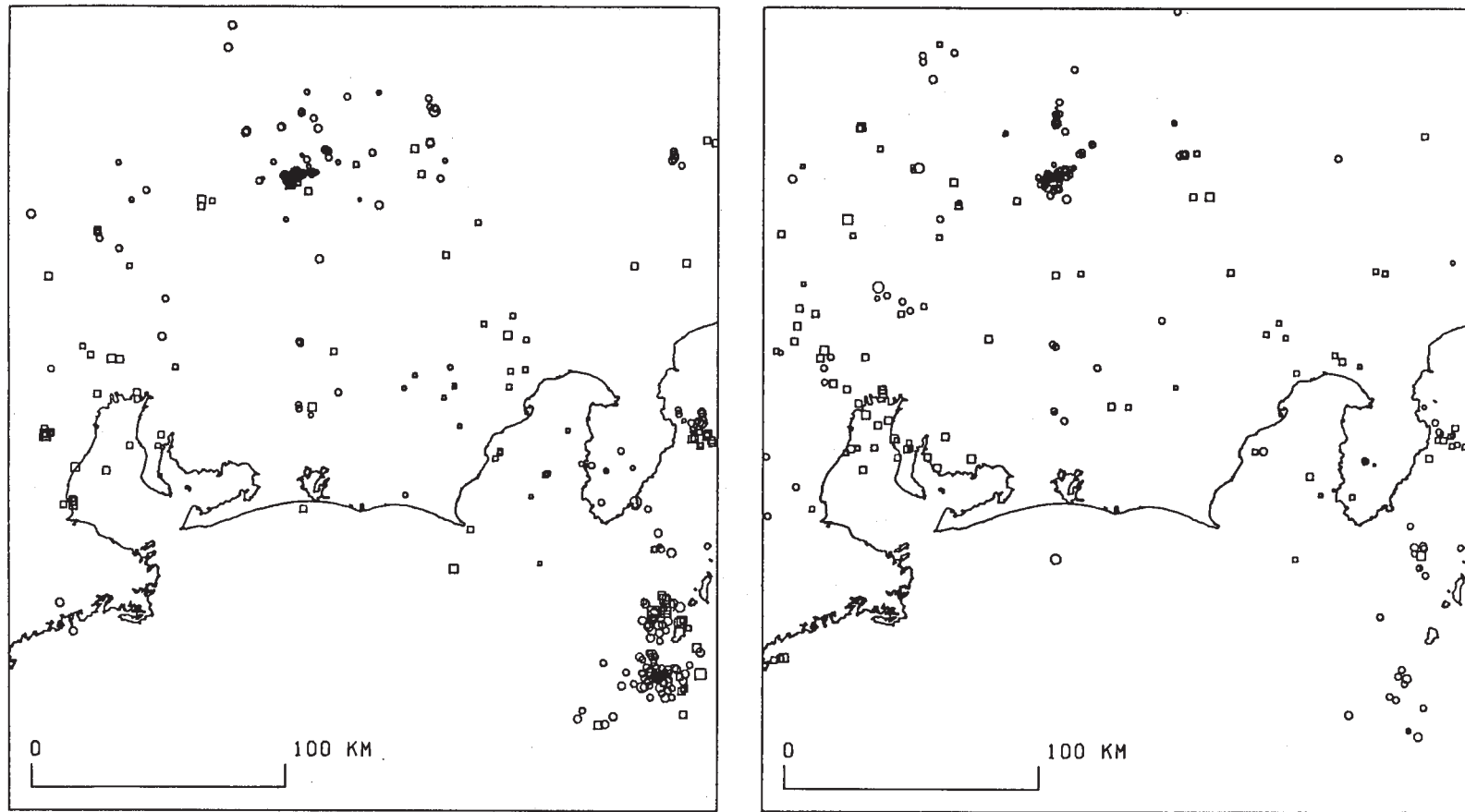
第1図は1988年11月1日より1989年4月30日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している地震の震央を3ヵ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 伊豆東方沖では1988年9月以降は静穏な状態が続いていた。
- (2) 長野県西部地震の余震は依然として続いているが、特に1984年の地震の余震域の南側で活動がみられた。
- (3) 1988年6月から8月にかけて、静岡県西部から愛知県、岐阜県南部、三重県北部にかけての地域では特に深さ30km付近の地震活動が静穏であったが、9月から活発となりM3.0以上の地震が比較的多く発生した。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1988年5月1日～1988年10月31日), 連絡会報, 41 (1989), 330 - 332.



N = 448

DEPTH	0	10	20	KM	MAG.	1	2	3	4
	○	□				•	◦	◌	◌

1988 11 1 - 1989 1 31

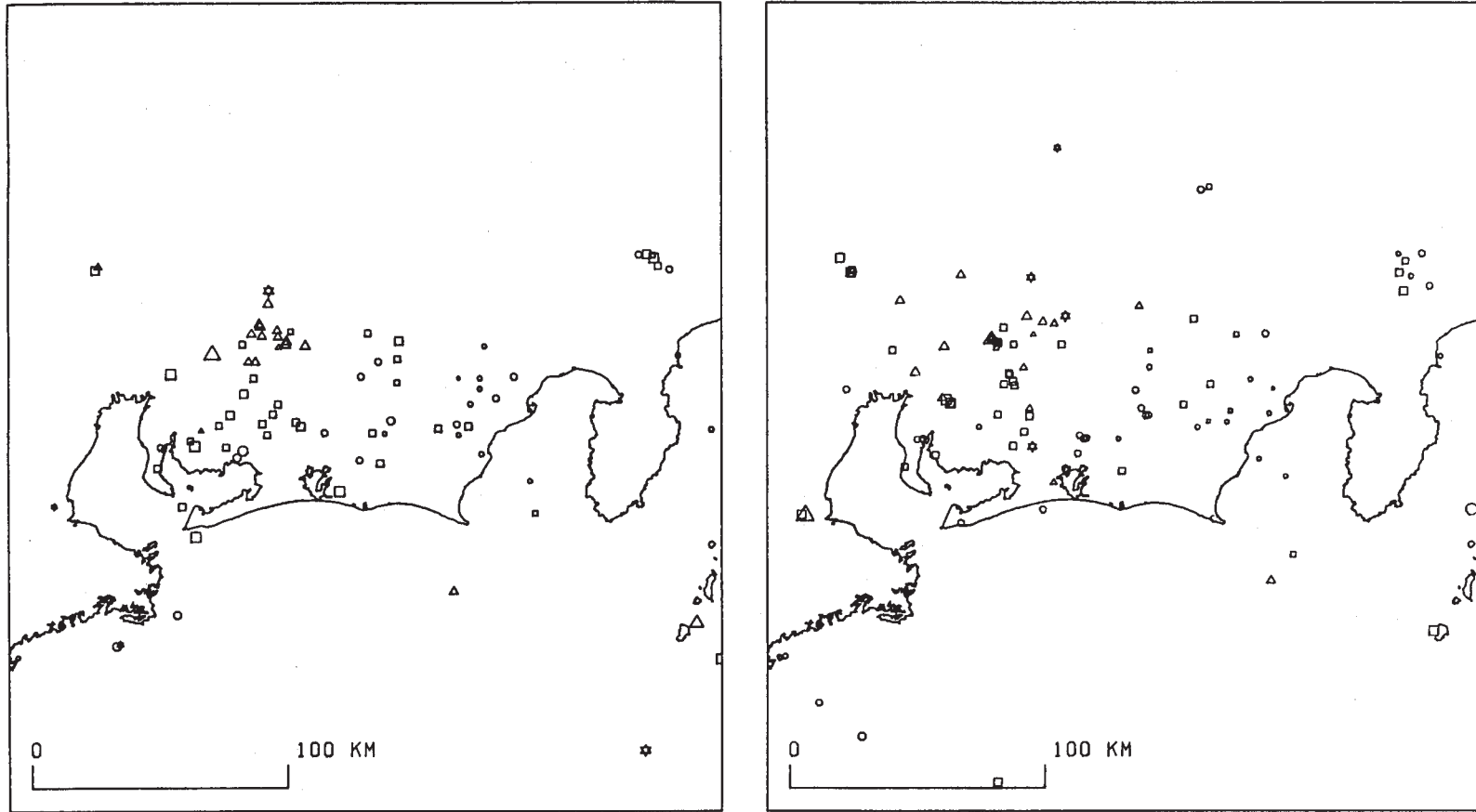
N = 283

DEPTH	0	10	20	KM	MAG.	1	2	3	4
	○	□				•	◦	◌	◌

1989 2 1 - 1989 4 30

第1図 微小地震の分布 (1988年11月1日～1989年4月30日) 震源の深さが20km以浅のもの

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1988 - Apr. 30, 1989) shallower than 20 km.



N = 85

DEPTH	20	30	40	50	80 KM	MAG.	1	2	3	4
	○	□	△	☆			•	◦	◦	◦

1988 11 1 - 1989 1 31

N = 107

DEPTH	20	30	40	50	80 KM	MAG.	1	2	3	4
	○	□	△	☆			•	◦	◦	◦

1989 2 1 - 1989 4 30

第2図 微小地震の分布 (1988年11月1日～1989年4月30日) 震源の深さが20kmから80kmもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1988 - Apr. 30, 1989) deeper than 20km.